

# なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和3年1月29日 第17号(19-40)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ！』

## 1/18（月）朝礼校長講話

## 『大宮中ゆるキャラの誕生』の話

### ～コロナ禍の生徒会活動～

先日、大宮中のゆるキャラが誕生しましたね。この『なでたろう』です。生徒会本部で、こんなコロナ禍で明るい話題づくりをしたいということで企画してくれました。そして、二学期末に生徒会表彰、校長賞の表彰を行いました。生徒会本部、担当の先生、作品を応募してくれたたくさんの生徒の皆さんに、本当に感謝しています。

製作者の2年の前田さんには、冬休みに保存原画の作成をあらためて依頼しました。正面、背面、そしてマスク姿の三枚を描いてくれて、始業式の日に持ってきてくれました。クオリティの高い作品で、見せてもらった時に驚きました。キャラクター造形とその背景も凝っています。先日、前田さんに制作の様子をインタビューしました。

**Q:なぜ大宮中ゆるキャラに応募しようと思ったのですか？**

人前に出るのは苦手です。私は絵を描くのが大好きです。前に石倉さんから描いてみない？と言われていて、ゆるキャラ募集の生徒会だよりを見て、やると決めました。

**Q:なでたろうをどうやって作り出したのですか？**

10日間くらい考えました。最初は大宮中の制服が可愛いので、そこからデザインしようと考えたけど、男女二つになるので断念。たまたま干支をテーマにした漫画『フルーツバスケット』を読んで、大宮中の誕生年のイノシシ年からアイデアを膨らませていきました。

**Q:冬休みの原画作成の制作時間はどれくらいかけましたか？**

ほぼ全部です。塾とかで勉強もしていたのですが、あれこれ考えていました。冬休みの年内は、後ろ姿やマスク姿を検討していて、年明け一気に四日間くらいで描き上げました。

**Q:苦労したところ、自信のある点がありますか？**

絵を描くのは大好きなので、うきうきした幸せな時間でした。お腹の「大」の字のグラデーションが難しかったです。顔や目の優しい感じを出したところは自信があります。

**Q:まわりの人からの評判はどうですか？**

祖母に写メを送ったら、「コロナ禍の中、心が和んだよ」と言われました。母の友達に元漫画家さんがいて、見てもらったら「上手いよ」と言われました。学校のまわりの友達から「かわいい」とたくさん言われました。とてもうれしいです。

**Q:前田さんの将来の夢はありますか？**

（キッパリと）漫画家です。幼稚園の頃から絵を描くのが好きでした。小1から自由帳にお話と絵を一緒に描いていました。小5の時に好きな漫画と出会って、自分も漫画を描きたいと思いました。今もコツコツ描いていて、これから描きたいストーリーもたくさんもっています。

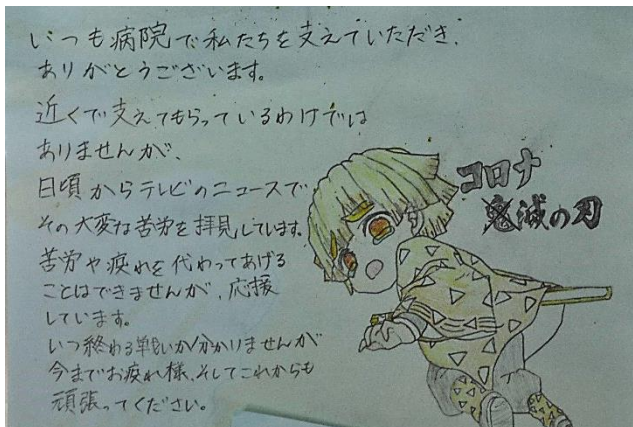
特技があるのは良いですね。これも挑戦です。皆さんも様々なことに挑戦して、夢や目標を育みましょう。今後、前田さんの作った『なでたろう』が、長く愛されるキャラクターに育ってくれるといいなと願っています。



大宮中の校章はなでしこの花びらで象<sup>かたど</sup>られています。『なでたろう』の特徴は、おなかに「大」の文字がある。なでしこと縄でつくった大縄を首につけている。大宮中の守り神で、性別や年齢は不明です。大宮中が開校した昭和22年の干支が『いのしし』だということを知り、守り神がいのししに化けてみたところ、元の姿に戻れなくなってしまうらしい…。

## 1/6 始業式式辞 『応援を自分のエネルギーにする三学期』の話

今日から三学期が始まります。先生方からみなさんに感謝の気持ちを伝えます。二学期末のギリギリに医療従事者の方に、応援メッセージをお願いしました。たくさんのカードが集まりました。読んでいて、（これは医療関係者が勇気づけられるな）というカードばかりでした。こうした人を『応援する』という行為、皆さんは気付いていますか？応援とは相手を励ますことですが、実は応援している自分自身にエネルギーが生まれていることを。ゴルフのタイガー・ウッズ選手が全盛期の頃、自分の気分を最も安定させる秘訣を語っています。それは、『どんな時も応援の思考をもっていること』。例えばライバルのパットを（外せ！）と、いくら考えても入るものは入ります。（入るな！）と考えているために、入ってしまった時にがっかりして機嫌を悪くして、自分からメンタルを崩してしまうわけです。ライバルのパットにも（入れ！入れてこい！）と考える。どんな時も応援の思考を習慣化させていけば、周りの人や出来事に自分の気分が、悪い方にもって行かれてしまって不機嫌になることが減ります。『誰かを応援する』は、12月26日のオリパラ講演で聴いた、スポーツドクターの辻秀一先生の『ご機嫌授業』の考え方でもあります。ぜひ、周りの人を応援する三学期にしていきたいと思います。特に3年生は、受験が目の前に迫っています。受験は個人戦の要素と学年、学級で挑戦する団体戦の要素があります。お互いに励まし合って応援し合いましょう。1・2年生はそんな3年生の姿から学んでください。



医療従事者の方への応援と感謝のメッセージより

さて、今朝は新型コロナウイルス感染急拡大のことにも触れなければなりません。現在の東京都の状況は、感染者数の増加は高止まりではなく、まだまだ増加傾向にあるとの判断が出ています。私がホッとしたのは、学校が一斉休校にならないということです。生徒の皆さんの通常の教育活動、つまり授業、給食、学校行事、部活動等は、可能な限り保障すべしということです。ただ、そうは言ってもこの事態です。これまでより厳しくなる面があります。詳しくは、皆さんの保護者向けの通知を今週中に出します。各学級でも読み合わせをしてください。『三密を避けること（大声・奇声を出す、じゃれ合うのが気になります）』、『消毒を欠かさないこと（最近ボトルの減りが少ない）』、『部屋の換気を怠らないこと（前後のドアも10センチ開けましょう）』は従来どおりです。それに加えて『マスクの着用を徹底すること』になります。え？マスク？これ以上？と思ったことでしょう。これまでは保健体育の実技、運動部の部活等で、熱中症を避ける観点から、マスクを『外して運動をする』としていました。しかし、三学期から当面の間、先生も生徒も原則マスクをしての運動となります。苦しくてマスクを外したくなるような運動強度は控えるということ。もう一つは、音楽の歌唱、合唱練習です。当面の間は歌の活動はできません。

今後、大宮中でも教職員、生徒の中から陽性者が出ることは避けられないでしょう。三学期は、大切な3年生の受験があります。出来る限り水際で防ぎたい。これは生徒の皆さん、そして家族の方の毎日の健康管理と点検が生命線です。微熱がある。強い倦怠感、だるさが抜けない。味覚・臭覚がおかしいといった自覚症状を、決して見逃さないでください。こうした不調があるときは、家族と相談して無理をせず登校を控えてください。欠席扱いにはしません。もう一つは、陽性者が出た時の周りの態度です。以前も言いました。大切なのは『優しさ』、つまり、大丈夫かなと心配して気遣う心、頑張れと応援する心です。病気と闘っている不安な仲間を、精神的に支え合える大宮中です。三学期も『挑戦』『優しさ』そして『応援』の精神で頑張りましょう 😊